

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

瓜破小	学校	児童数	63
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.58	16.06	32.00	36.71	36.45	9.63	144.84	18.12	49.04
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	14.48	13.91	36.09	33.48	24.13	9.91	126.60	10.21	47.33
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男女ともにすべての種目において大阪市の平均を下回った。体力合計点の大坂市平均とは男子が-1.79ポイント、女子が-5.32ポイントの差があった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答では男子が87.9ポイント、女子が45.5ポイントとなり大阪市との差は男子は+18.0ポイント、女子は-7.3ポイントであった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子30.3%、女子36.4%となっており、大阪市との差は男子が-0.5ポイントで女子が-18.9ポイントとなっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今回の運動能力テストでは男女とも全ての種目において大阪市の平均を下回るという結果になった。相対的にみると男子は若干下回っているものの大きく差はない。20mシャトルランにおいては男女とも（男子-6.5、女子-10.0）差が大きく持久力について課題が見られた。

本校は校舎新築工事により約2年間運動場が使えず、狭い運動スペースを譲り合って使い、休憩時間も使用学年を分ける状況で、コロナ禍とも重なり児童の運動機会が減った影響を反映する結果となった。

一方で、「運動をするのが好き」と答える児童は男子では大阪市平均を大きく上回っていて、これを生かし、主体的に運動に取り組めるよう「楽しく」運動できる機会を設けたいと考えている。運動場が使えるようになり、体育科の授業をはじめ、休み時間にも外に出て元気に遊ぶ姿が戻り、体育委員の児童を中心に楽しく外で遊べるような企画なども考案し取り組みを進めている。